

光市医師会報

平成17年8月号

No.376



光市医師会

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

Essai

光芒の青春

光中央病院 丸岩 巖

昭和19年、中央線の国立駅を降りて南に真直な大通りが有り2～3分歩けば右に東京商大（現一橋大学）のキャンパスが有り、更に2～3分歩くと当時の海運王であった山下太郎が軍人の子弟の中学校をと造った第1山水中学校が有った。（現桐萌学園）他に山水女学校（現桐萌音楽学校）、第2山水中学校（大阪）が有った。当時国立は武蔵野の面影が強く家もまばらで春には雲雀が鳴いて麦畑が広がった。

当年3月より学徒勤労働員が行われる様になり、立川陸軍航空隊の工場に午後より行き木工部で大工さんの仕事を手伝っていた。小手調べに受けた旧制広高が数学の失敗で落ち、次回は旧制一高を受験しようとして午前中は学校授業、夜は午前1～2時迄自宅勉強。週2回は新宿の予備校へと猛勉強をしていた。所がその頃徴兵検査が20才より17才に引き下げられるとの噂があり、一兵卒で戦争に参加するより将校としての方を選ぼうと考え視力0.1（矯正1.0）の現状で受験出来るのは陸軍経理学校のみで4月初旬に願書を提出した。6月6日にヨーロッパでは連合軍がノルマンディー上陸作戦を行い独軍と激戦を繰り広げていた。6月28日～30日の3日間に渡り国語、作文、歴史、地理、物象（物理化学）、数学（代数幾何）の筆記試験が行われた。東京会場はどこかの学校の講堂に姓名の「マ」の受験生が約150人ぐらい集まっていた。後で聞くと樺太、満州、朝鮮、台湾、沖縄、内地の学校より応募人員は数万人に及び倍率は50倍以上で一高より難しかったと聞いてびっくりした。7月7日サイパン島の守備隊玉砕、中学の2年後輩の父が最高司令であった。7月22日合格発表、山水中学より1、2番を争っていたM君と2人が合格。8月3日テニヤン、8月10日グアム島の守備隊玉砕、8月23～27日身体検査、陸経校は中央線の国分寺より降りて北に徒歩約20分の小平にあった。10月1日雨の中を午前10時より入学式が行われた。第10期生で1～6区隊各60名づつ360人が入校しM君と共に1区隊に入った。「君、僕」も「貴様、俺」という軍隊言葉、麦米半々の麦飯等は戸惑ったが段々慣れてきた。小銃は九九式短小銃だった。日課は午前5時起床午後10時就寝。午前4時間学科、午後術科。学科は中学と同名の学科と東大、東京商大、東京農大、早稲田等より高名教授による授業もあった。語学は英、独、露、支那語の4科で選択であった。術科は剣術、軍事訓練、体育、特殊なのは週2回の馬術が有り普通の馬を乗りこなすまでになった。

入学前と違う点は何でも早く正確がモットーで洗面、排便、食事、風呂等をすべて5分以内に済ます事が必要だった。11月に入るとマリアナ基地よりの

B29の来襲が始まった。11、12日には午前11時より翌午前7時頃迄連合演習夜行軍が行われ歩く歩く眠っていたのを覚えている。陸経の練兵場の隣りに名門の小金井ゴルフ場があった。東側のインコース全部、西側のアウトコースを月木金の3日借用の契約があり、インコースは芋畠にアウトコースは甸甸訓練を何時間もやらされた。然し戦局不利の情勢下で皇族の方が女性同伴でゴルフをしている姿を見て感無量であった。11月24日にはB29による東京初空襲、30日には初の夜の空襲が行われた。12月3日には40機が上空を東進、250キロ爆弾が約500M離れた練兵場に落ち防空壕に入っていたが生埋めになるのではと思わせるぐらい振動した。この年は寒く9日には初雪が降った。以後室内外の温度は摂氏で(-)となり寝室は(-)2度と寒く毛布8枚を掛けて寝た。27日朝5時非常呼集、防毒面と手拭2枚を持ち氷の張ったプールに入り、上って防毒面をつけ駆走した。当日白昼B29の空襲、友軍機が体当たりしB29の落下するのを見た。

昭和20年1月1、2日と赤飯、雑煮、数の子が朝食に出て正月気分を味わった。9日には午後悠々と青空を富士山の方へ向う1機のB29に隼戦闘機が後方より体当たりをするのが見られた。B29は空中分解し友軍機よりは脱出し落下傘が開く予定であったが見ている人の希望も空しく開かないまま落下。翌日戦死の報を聞いた。この搭乗員は4~5日前に会った陸士出身の21才の彫りの深い顔の東北出身の航空中尉で「B29には後部より尾翼に体当たりするのだがB29は大きく風圧が強く中々難しい。然し必ず成功して見せるから見ていてくれ」と言ったばかりだった。この年は寒波が強く雪も多く気温は零度以下が続き雪も60cmも積もり生まれて始めて霜焼、あかぎれに苦しんだ。2月16日には艦載機グラマンによる空襲3回有り制空権の低下を感じた。

3月9日夜半より10日未明にかけB29、150機による東京大空襲、高射砲、曳光弾、探照灯の交錯、可成りのB29の撃墜、そして東京方面の空は真紅となった。東京の40%が焼失した。防空能力もこれ以後急速に低下し制空権は完全に米軍のものになった。3月14日は大阪大空襲、入校以来週1回は廻って来る不寝番は就寝時間中1時間2名で1人歩哨、1人見廻り連絡係りで起きておらねばならない。それに頻回の空襲警報による防空壕への退避で午前の教科は睡魔との戦いであった。ジフテリア、パラチフス、結核、消化不良性下痢等が入隊以来発生し、同期で3名の犠牲者が出た。4月1日米軍沖縄本島上陸、2日夜B29、70機による吉祥寺、三鷹、田無方面爆撃、段々小平に近付いて来た。7日呉より出撃の戦艦大和撃沈される。11日校長より「特攻精神の養成に努めよ」との訓示有り。12日夜B29、170機による宮城、明治神宮、阿佐ヶ谷、高円寺、投爆。14日夜半百数十機にて東京西南部空襲、15日B29、200機による横浜、大森方面空襲。然し夜は空襲警報、昼は

艦載機の来襲があるにもかかわらず20日より5日間にわたり学科の数学、物
理化学、地理歴史、外国語、国語、漢文、法学通論の40分試験が行われた。
24日夜立川方面空襲、27～28日伊、ムッソリーニ逮捕銃殺。30日ヒト
ラー、ベルリン地下壕で自殺。5月より教育は第2期となる。4日より東大田
中教授による憲法の授業が始まり、約26時間講義が行われた。7日ドイツ降
伏。24日B29、200機が京浜西南部空襲大火災となる。26日B29、
250機空襲、宮城、赤坂離宮被弾、本校周辺にも焼夷弾多数落下、中央線完
全不通となる。この頃より現地自活と云って甘藷、トマトの苗植えが行われ練
兵場、ゴルフ場は芋畠となった。教練は対戦車対策として匍匐訓練が長時間行
われる様になり米軍本土上陸時の対戦車特攻攻撃の準備と考えられた。6月に
入り夏衣袴（上着、ズボン）へ変更した。6日より荒川畜産実習のため約20
キロ行軍し、埼玉県志木市に行き4泊5日の開墾作業をした。梅雨に入り雨多
くなり、学科は民法、憲法の講義があった。23日には沖縄守備隊の全滅が知
らされた。7月暑くなり4日B29、2機P51、120機による空襲有り以
後連日の空襲、警戒警報発令となる。東京は焼野原となり小学生は田舎に疎開
しておった。18日昼艦上戦闘爆撃機500機関東地方に来襲。20日地政学
の岩田孝三教官（後東京学芸大学教授）より「今ポツダムで米英ソの3巨頭会
談が開かれており、そこで日本が抹殺されるか、米の海軍国とソ連の陸軍国の
緩衝国として生残れるかが決まる。ソ連が参戦したら日本は敗れる。」との発言
あり物議をかもしたが暗然とした。現在ではその先見性に感心させられる。2
5日経済、栄養学の期末試験有り。28日より半数が疎開する準備を始める。

空襲警報は連日連夜となり、食糧事情も悪化した。8月6日広島に原子爆弾
投下（新型爆弾と云っていた）8月8日ソ連対日宣戦布告。北満、朝鮮、樺太
に進攻。8月9日長崎に原爆投下。12日ポツダム宣言受諾の報が秘かに伝え
られた。14日早朝4時津若松へ疎開の為出発。完全軍装で九九式短小銃に
は実弾が装填されていた。上野より汽車は満員だった。午後4時20分会津本
郷到着、本郷国民学校、川南国民学校を生徒舎とした。夜の点呼後中隊長より
明日の玉音放送についての話があったがよく理解出来なかった。

15日12時本郷国民学校の校舎前庭に携銃帯剣で整列し天皇の終戦の詔勅
をラジオで聞く真夏の太陽が焦爛と照り付け蝉時雨が沛然と降り注ぎ汗が淋漓
として流れる。当時のラジオの事でよく聞き取れなかったが日本が敗れたとい
う事だけは理解できた。不動の姿勢の第十期生の頬には涙が滂沱として伝わり
落ちた。その後3～4日、白虎隊のひそみにならい若松の地に立て籠り抗戦し
ようとする者、故郷に帰らんとする者、何れかに決しかねる者等、皆の心は揺
れ動いた。19日小平の陸経に帰れとの命令が出る。町民や児童に見送られ午
後5時20分会津本郷で汽車に乗り列車は猛烈に混み20日の昼前に上野に着

き帰校した。21日には終戦の大詔をひたすら拝し日本の再建に盡せ軽挙妄動するなの訓示があった。22～25日迄日本史、化学、物理の授業が有り、以後復員の準備、9月1日陸軍経理学校予科生徒を免ずの解散式、夕食に初めての酒が出され皆で回し飲みし同期相集い語り騒ぐも本夜限り、然れども一抹の悲しみを覚えるは耐えがたし。2日復員方通別に部隊を編成して校門を出た。東海、関西、中国、九州方面は午後2時40分博多行きの列車で東京を後にした。東京、横浜と焼野原が続き主要な市町は殆ど瓦礫の山と化し、特に広島は駅が無く復員者は汽車より線路に飛び降り遠く宇品には海が見えた。3日午後3時頃、古里である山口県玖珂郡神代村の神代駅に降りた。若い女性の駅員さんが「兵隊さん御苦労でした」と云い最敬礼してくれた。まさに國破れて山河ありだ。家に帰ると母、妹、弟、伯母が涙を流して無事を喜んでくれたのを今も忘れない。家族は疎開の為昭和19年末に帰郷して居り父も軍人を辞め実業家として支那の済南に行ったとの事でお互い6ヶ月音信不通であった。世の中は混乱期で今後どの様に処世しようかと考えると頭は真白であった。然しこの1年余りの人生は16～17才の強烈な光芒の青春であり今でも脳裏に焼付いている。



先月の医師会長

- | | |
|----------|----------------------|
| 7月 5日(火) | 広報委員会 (医師会事務局) |
| 7月 7日(木) | 介護認定審査会 (あいぱーく) |
| 7月10日(日) | 休日診療所 (あいぱーく) |
| 7月12日(火) | 理事会 (医師会事務局) |
| 7月14日(木) | 光市健康づくり推進協議会 (あいぱーく) |
| 7月19日(火) | 納涼会 (光井クラブ) |
| 7月21日(木) | 山口県医師国保組合総会 (県医師会館) |
| 7月28日(木) | 三井小学校保健委員会 |

7月の医師会活動

- I. 5(火) 広報編集委員会
- II. 12(火) 定例理事会
- III. 19(火) 納涼懇親会

(医師会事務所)
(医師会事務所)
(光井クラブ)

I. 広報編集委員会

日時:平成17年7月5日(火) 午後7時30分～

場所:光市医師会事務局

以下の意見が出た。採用は検討中

- ・「ホームページだより」が終了。次回は「理事の声」というテーマはどうか
- ・「巻頭言」の表題はおかしい
- ・学術講演会での演者に、出来るだけ抄録を書いてもらうようにしたい
- ・「一枚の写真」というコーナーを作り、昔の写真にコメントをつけて掲載する
- ・趣味のコーナーはどうか
- ・原稿依頼は、開業医→光総合病院→大和病院と持ち回る。広報委員が医師会長、各院長を通して各Drに原稿を依頼する。

II. 定例理事会

日時:平成17年7月12日(火) 午後7時30分～

場所:光市医師会事務局

議題:

I. 報告事項

1. 郡市医師会正副会長会議(6/16) (河村会長)
2. 郡市医師会成人、高齢者保健担当理事協議会(6/30) (丸岩理事)

II. 協議・承認事項

1. 認知症予防講演会 10/7(金)午後7時より 国立長寿医療センター 遠藤英俊先生
2. 血液検査(PSA)による前立腺がん検診 (丸岩理事)
…9月4日(日)“ふれあい・健康フェスティバル”の活動について

資料① 1. 郡市医師会正副会長会議

日時:平成17年6月16日(木)午後3時～5時40分

場所:山口県医師会6階

1. 中四国医師会連合総会分科会報告
2. 平成17年度保険指導について
県医師会からの役員派遣は中止
3. 注意事項
4. 日本医師会長 植松 治雄先生 講演 「医療改革と医師会」

資料② 2. 郡市医師会成人、高齢者保健担当理事協議会

日時:平成17年6月30日(木) 午後3時～5時40分

場所:山口県医師会6階

1. 平成17年度における健康づくり対策について
地域職域連携推進協議会
健康状態の悪化している壮年期層(特に男性)の健康づくりを推進
健康やまぐち21計画中間評価、見直し(目標が達成されていない)
やまぐち健康フェスタの開催10月2日(山口市)
健康やまぐちサポートステーション(健康づくりのHP)… 4月21日リニューアル
食生活改善に向けた県民統一キャンペーン 子供のたばこ対策…学校内禁煙?
心の健康サポーター推進事業
2. 老人保健事業の動向と検診の実施状況
活動的な85歳をめざす
介護予防対策
ライフステージに応じた多様な事業
PSA検診…光市は財政上困難
基本検診受診率は光市は高い
3. マンモグラフィ読影講習会
9月は、100名程度申し込み
平成18年度3月に次回予定

4 その他

糖尿病対策推進会議

認知症安心テレホン

医師会と地域の保健婦、ケアマネの連携を推進してほしい

「ケアマネタイム」アンケートをお願いしたい

Ⅲ.

納涼懇親会

日時:平成17年7月19日(火) 午後7時～

場所:光井クラブ





新入会員コーナー



開業感想記 五嶋内科クリニック 五嶋 武 先生

この暑い7月1日に開業してみたものの患者さんはあまり来ません(あたりまえのことですが)。それにつけても思い出されるのが2年前(?)の医師会報に掲載された多田先生の開業記です。“カーテンをめくって患者さんがくるのを待つ”という文章が印象的でした。当方は後継ぎのいないシルバー開業にてそれほどの切迫感もなく、ひまに任せて“ボンボンベッド”で不貞寝のありさまで。 “夜型人間”の常で昼寝でさらに睡眠リズムを狂わせ、夜中に起きだしてまた“昼寝”の悪循環に陥っています(予想通りです)。開業前の本年6月には守田光総合病院長から“赤字がでてでも老後のお遊びと思えばやすいものだ”と慰められ、開業初日のレセプションでは河村医師会長から“眠れぬ日々がはじまりますよ!”という激励のお言葉をいただき、おかげさまで精神状態はいつになく安定しており、楽しませていただいております。ところで開業初日は注射台がなく、内腹薬を処方しようにもこれまた準備しておらず、というドタバタの連続でした。というわけで“あせることなくポチポチのスタイルを続けて”というところでこれから先も皆様よろしく願い申し上げます。

あきよし心療内科クリニック

秋吉宏規 先生



平成17年7月1日、諸先生方の応援を頂きまして、当地に診療所を開設することができました。予想を超える来院数に戸惑う毎日ですが、昼夜の境なく遊びにやってくる顔馴染みの患者様とも賑やかに過ごし、まさに矢の如く1か月が経ちました。

開業に当たっては、多くの先生方がそうであるように、悶絶しました。しかし、この度の決断を支持してくれたのは、ひとりひとりの患者様であったように思います。いまでは、私を応援してくれる患者様がひとりでもいる限り、俺は当地に骨を埋めるのだ!と熱く思っています。日々の業務に専心することが恩返しでありましょう。

…私は人前で喋ることが病的に苦手で、6月の例会の折、ご高名な先生方を前に自己紹介した際の泣き出しそうな顔に気付かれた先生もおられたでしょう…果てに納涼祭では、酔った勢いとはいえ、あまつさえ一本締めまでやってしまったらしく…。不幸にしてそのような写真が現存している由、速やかに廃棄して頂きたく存じます。

大学の同窓会名簿など眺めるに、医局では、はや中堅所のようなようです。しかしこの度、自己紹介、一本締めと、研修医の緊張感を味わうことになろうとは思いませんでした。…出身は福岡県北九州市です。小倉高校、福井大学を卒業し、当地に落ち着きました。趣味は33歳から始めたスキーと、35歳から始めたベースです。当院の狭い休憩室をスタジオ代わりにして日々練習に勤しんでおります。

義父に仕込まれた「東京花売り娘」「京都慕情」「面影の郷」「雨の御堂筋」が得意です。お付き合いさせてください。地域の精神保健増進のため尽力する所存です。今後とも、よろしくご指導いただきたく存じます。

連絡事項

受付 月	日	発送番号	通達文書名
6	1	医務352	「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について
	2	山医発143	第1回男女参画フォーラム開催について
		山口県医師会	医師を狙ったスキャンダル口止め名目の架空請求へのご注意
		山医発145	結核予防法第13条の規定による定期的予防接種等に関する留意事項について
		山医保発20	被保険者の個人情報の取り扱いについて
		山医連発3	医政活動資金の交付について
		山福株式会社	配当金振込通知書
6		全消協129	応急手当ポスター（心肺蘇生法成人編）の斡旋について
7		山医発146	顕彰の会報掲載について
9		事務連絡	ミニレターの送付について
		事務連絡	向精神薬のしよほうについて（依頼）
		山医発152	平成17年度会費決定通知書について
		山医発153	鳥取県医師会 産業医前期研修会の開催について
10		事務連絡	「医療保険制度改革における日本医師会の考え方」について
13		山医発161	学校保健法施行規則の一部改正等について
		山医発159	「乳がん検診および子宮がん検診における事業評価の手法について」 （乳がん検診に関する検討会中間報告）の送付について
		山医発158	保健事業実施要領の一部改正等について
		山医発160	第93回山口県医師会生涯研修セミナー 平成17年度第3回日本医師会生涯教育講座 山口県エイズ対策研修会
		山医発162	学校心臓検診精密検査受託医療機関に対する研修会開催について
14		山医発165	「予防接種法施行令の一部を改正する政令案」及び 「予防接種実施規制の一部を改正する省令案」に関する ご意見募集について
16		山医発174	平成17年度産業医基礎前期研修会の開催について
		山医発170	平成17年度郡市医師会成人・高齢者保健担当理事協議会の開催について
		事務連絡	各届出書（「入会申込書」「退会届出書」「異動報告書」）及び会員証発行申込書により収集した個人情報の利用目的公表について
17		山口県市町村職員共済組合	メンタルヘルス相談事業の実施及び事業説明について
		健康増進387	「山口県の母子保健（平成15年）」の送付について
20		山医発181	さい帯血移植の安全性の確保について
		山医発177	地球温暖化防止の対策について
		山医発183	「女性のがんシンポジウム」の開催について
		山医発166	平成17年度市町村からの委託事業場等の調査について
		山医発179	特定疾患医療受給者証の有効期間満了に伴う更新手続き及び特定疾患治療研究事業における認定基準等の改定について
21		山健康福財団3036	地域リハビリテーション研修会の開催について
		山医発184	審査に関する意見・要望のとりまとめについて（依頼）
23		日本医師会	日本医師会介護保険情報メール No10号の送付
		山医発189	平成17年度全国安全週間の実施並びに厚生労働大臣メッセージの周知協力について
		山医発190	第34回医療功労賞候補者の推薦について
27		山口県医師会	国内における変異型クローンフェルト・ヤコブ病の発生を受けた献血の受け入れに係る措置の実施に伴う血液製剤の回収等について
30		山医発203	郡市地域医療担当理事連絡協議会の協議テーマについて
		山医発198	平成17年版会員名簿の配布について

7	4	日本医師会	日本医師会個人情報保護規程等の改定（通知）及び各医師会における個人情報取扱細則作成のための参考資料の送付について
		山医発202	消費税に関するアンケート協力依頼について
		山医発106	「ケアマネタイム」アンケートについて
		山医発208-1	郡市医師会医療情報システム担当理事協議会の開催について
		光社協15	2005 ふれあい・健康・フェスティバルのご協賛について（お願い）
7		山医発214	「学校・地域保健の連携～地域の専門家とのネットワークづくり」の送付について
11		山消検8	第40回山口県消化器がん検診講習会の開催について
		山医発217	平成17年度中国地区学校医大会の開催について
		山医発221	院内感染対策相談窓口事業の実施について
		山医発223	平成17年度「評価調査者養成研修会」の開催について（ご案内）
		山医発222	平成17年度の医療法第25条第1項の規程に基づく立入検査の実施について
12		周南健康福祉センター	特別管理産業廃棄物処理の実績報告について
		山医発229	郡市医師会救急医療担当理事協議会の開催について
		山医連6	若手会員研修会の開催について
15		山口県医師会	「医療関係者のための成年後見制度に関する講座」の開催について
		山医発235	第18回（平成17年度）健康スポーツ医学講習会の開催について
		山医発231	平成17年度臨床検査制度管理調査の実施について
		山医発237	健康アクション2010キャンペーン「県民健康づくり大行動週間」の実施について
19		山医発242	ハローワークにおける厚生年金及び労働保険への加入が適正に明示されていない求人への社会保険事務所等と連携した対応について
		事務連絡	山口県救急医療情報システムの運用状況月報（平成17年6月）について
		日本医師会	夏季における日本医師会年金の普及推進運動について（依頼）
21		山口県医師会	医療機関等からの医薬品又は医療機器についての副作用、感染症及び不具合報告の実施要領の改訂について
		山医発248	病院内保育所運営補助金交付要綱の一部改正について（通知）
		山医発249	山口県病院内保育所運営費補助金交付要綱の一部改正について
25		内科医会	平成17年度第43回山口県内科医学会・総会の案内について（お願い）
		山口県医師会	かならずしも高度でない先進医療の特定療養費化について
26		山医発257	育児用調製粉乳の衛生的取扱について
		日本医師会	予防接種法施行令の一部を改正する政令について
29		山医発261	郡市医師会地域医療計画担当理事協議会の開催について
		山口県医師会	使用薬剤の薬価（薬価基準）等の一部改正等について

県医師会より「フォトコンテスト募集のお知らせ」

第7回
いのち
「生命を見つめる」
フォトコンテスト 作品募集

日本医師会と読売新聞社では、生命の尊厳、大切さを考えてほしいとの願いを込め、「生命いのちを見つめる」フォトコンテストを開催しています。周囲の生きとし生けるものすべてが被写体です。レンズを通して「生命」を感じた作品をご応募ください。

募集要項

出品資格：（日本医師会所属の医師）
募集期：19年8月
応募先：読売新聞社
問い合わせ先：03-3552-1111

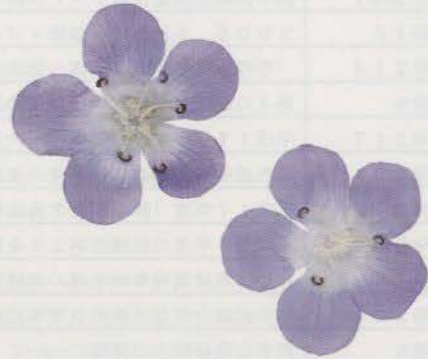
募集内容

募集期間：18年7月30日～19年8月31日
募集ジャンル：自由
入賞：15名以内
住所：〒100-8555 東京都千代田区千代田

応募方法

①応募作品は、A3サイズ（縦向き）のカラー印刷（100%）で提出してください。②作品の裏面に「フォトコンテスト」の応募用紙を貼付し、必ず「生命いのちを見つめる」の文字を記入してください。③応募作品は、必ず「生命いのちを見つめる」の文字を記入してください。④応募作品は、必ず「生命いのちを見つめる」の文字を記入してください。⑤応募作品は、必ず「生命いのちを見つめる」の文字を記入してください。⑥応募作品は、必ず「生命いのちを見つめる」の文字を記入してください。⑦応募作品は、必ず「生命いのちを見つめる」の文字を記入してください。⑧応募作品は、必ず「生命いのちを見つめる」の文字を記入してください。⑨応募作品は、必ず「生命いのちを見つめる」の文字を記入してください。⑩応募作品は、必ず「生命いのちを見つめる」の文字を記入してください。





7月休日当番医報告

	内科系	外科系
7/ 3(日)	20	6
10(日)	25	13
17(日)	26	4
18(月)	9	18
24(日)	22	11
31(日)	18	5
計	120	57

あ と が き

丸岩先生、貴重な体験談をありがとうございました。一本の映画を観ているようで臨場感に溢れていました。戦後60年、忘れがたい過去があるのだと報道はされています。ああ、なんて人間は愚かなのかとやりきれない無常観に行き着き、合掌で心の安寧を得たい心境に、私はなってしまいます。若者もそうなのでしょうか？ 見てはいけないもの、言ってはいけないものがあるはずなのに、戦後60年を振り返る報道にもそのタブーが破られているような気がします。そこまで言っちゃいけないよ、というところです。丸岩先生は、その言っておしまいのお話をしておしゃっていない。そうですよ、貝になりたい気持ちをみんなわかって欲しいですよ。そうすれば、みんな馬鹿な戦争などしないはずなのに。先生の辛い暗鬱たるお気持ちをお察しします。戦争は本当に厭です。

発行所 光医師会
TEL(0833) 72-2234
発行日 平成17年 7月10日
発行者 河村康明
編集者 広報担当
印刷所 光市光井一丁目15番20号
中村印刷株式会社